

世界遺産センター 関連予算上程は性 急すぎる



限部和久 議員

市長 原城跡の価値を内外及び後世へ伝える為に必要である。

議員 世界遺産センター建設計画について、建設費用及び、その財源、維持管理費、年間入場者数の予測とその根拠は。
市長 建設費について、以前10億円程度と説明したが、昨今の世界情勢や、円安による物価高騰の影響を受ける事が予想される。財源については、過疎債を主に、起債や補助金や交付金等を充当できるように調整していく。維持管理費は、年間3千万円程度と考えている。集客数は、年間15万人を目標とする。根拠は、原城

跡の来訪者数や、近隣の観光関連、物産販売施設の集客状況を基に算出した。

議員 今回の補正予算にその基本設計予算が計上されているので、当然、行政側はある程度の検討をしているだろうが、我々議員は、可否を判断する為の知見が殆んどない。特に今回は、新人議員が8名加わっており、初議会でいきなり提案されても困惑するのではないか。今回この基本設計予算を可決するという事は、総額10数億円の建設事業に同意するという事である。議員には予算の議決権という権限があるが、同時に大きな責任も伴う。このような大型事業に関わる案件であり、我々議員各々が調査、研究をする為の期間が絶対必要である。今回の上程は性急すぎると思うが。



世界遺産センター整備候補地
整備候補地=南有馬町三崎地区(小字 下陣場)

に、今、世界遺産センターを整備する事は非常に重要だと思っている。

議員 私も原城跡を主とする史実は、日本史の中でも重要であり、その価値を後世に渡り伝えるべきものであると思うが、その為に、10数億円の建設費と毎年3千万円の維持費を要するセンターが必要か否かの判断を議員として行うには、今議会上程としては拙速である。
《その他の質問》
・自転車歩行者専用道路について
・新型コロナ関連
・大型台風時の高齢者避難について
・公共施設の有効活用について



農業振興に対しての 考え方を伺う



酒井光則 議員

市長 農業者の所得向上を目指し支援に取り組んでいく。

議員 他に大きな産業の少ない本市にとり、農業振興は重要な課題だと考える。近年の農業農村を取り巻く環境は厳しさを増している。このような中、農業の振興に対しての市長の基本的な考え方を伺いたい。
市長 本市の基幹産業である農業については、生産量の増加と作物の高品質化の推進による、農業者の所得向上と経営安定化を図るため、国や県の補助事業の活用のほか、市独自の取組についても積極的に実施している。

議員 本市の農地基盤整備率は20数%と低い状態にある。基盤整備の推進について伺いたい。

市長 本市の基幹産業である農業の振興のためには、農地の基盤整備事業は大変重要な施策である。生産性の効率化などの向上によって、農業経営の安定と所得向上につながるものと考えている。現在実施中の地区の早期完成並びに新規地区の事業採択に向けて、国・県及び土地改良区の御協力の下で、基盤整備事業推進の取組を進めているところである。
議員 諫早方面に向かう国道251号並びに57号は島原半島西部住民にとって重要な幹線道路である。今年3月に事業化が決定された富津防災トンネルと共に、島原半島西回り道路の早期整備は、半島西部住民の悲願である。国・県に対してどのような働きかけが行われる考えか。

市長 市議会議員はもとより、地元選出の国会議員、県会議員の皆様方の御協力をいただきながら、要望活動をしっかりと行っていく。

議員 加津佐中学校横の市道は、道幅が狭く近くに農協の選果場があり、大型トラックが数多く通行し、大変危険な状態にある。子供たちの安全のためにも道路拡幅計画はないのか。
市長 現在中断している状況であるので、安全確保のためにも、地域の皆様の御協力をいただければと思っている。



空池原地区基盤整備事業